

銚子市公立保育所再編方針（案）についての
パブリックコメントでいただいたご意見全文

（明らかな誤字脱字は修正していますが、原則として原文のまま掲載しています。）

No. 1

P6 東部地区に位置する3保育所の状況

建物の状況

海鹿島は築年数は長いのですが、補修が施されて老朽化や劣化は感じさせない。今の状態でも子供たちにとっては、良い保育環境であると思う。

周辺道路

第2保育所に雨天時のおむかえの車が集中したらどうなるか？海鹿島は駐車場もあり、先生方の協力もありスムーズである。

厳しい財政状況や小子化もわかるが市の努力は十分なのか？

No. 2

（当該箇所：6ページ）

入所率が超えている海鹿島を存続して第二と第三を集約したらいい建物の状況は特に問題はないと思う。

周辺道路は他とは違って送迎用駐車場もあり、私も送迎に行く時もあるがスムーズに送迎できるし、先生方が協力的である

No. 3

今2才の息子を海鹿島保育所に通わせている保護者です。

昨年7月から途中入所しやっとなれてきた矢先にこの話を聞きました。

海鹿島保育所を選んだ理由は、もちろん自宅から近いというのみではなく自分も卒業した場所でもあり、またその時の先生方が現役で活躍されていたからです。その為とても安心して子供を預けることができます。それに昔から地元の方とも仲の良い保育所で夕涼会や運動会は父兄の方々以外にもご近所の方が必ず参加されている今の時代にはめずらしい「おせっかい」のある場所です。地域とのコミュニケーションが無くなりつつある昨今、このような昔なつかしい教育をする機会を、場所を子供達から奪ってしまうのはいかなるものか？とても不安になります。こういう貴重な教育機関こそ残していくべきではないでしょうか。

No. 4

海鹿島保育所に今年年長になる息子と1才児クラスに2才になる息子を預けています。今回の案で1/11の説明会に出席させてもらいましたが、最初に思ったのがも

しも本当に海鹿島保育所がなくなった時、その時には上の子は卒園していると思いますが下の2才の子は確実に別の保育所に移れるのか、待機児童にならないか、なったとしたら仕事を止めざるおえなくなって生活ができないと思いました。個人的には主人と将来的にこれから銚子の出産した人の受け皿は大丈夫なのか、人口減少に火に油では？と思いました。第二、第四保育所が受け入れられず海鹿島に入所した話しも聞いたことがあります。海鹿島は先生方の入れ替わりが少なく、すべての先生が自分の子供の名前を覚えてくださっていて、とても安心感があります。銚子の財政難は重々承知ですがなくなってほしくありません。もし仮に本当に最悪になってしまう時はいまいる在園児たちだけでも卒園させてからの廃園にしてほしく思います。

No. 5

保育所再編は、物理的・数的観点からのみで為されるべきではないと考えます。というのは、保育所に求められるのは子どもを安心して預けられる環境であることと、信頼出来る先生方がそこにはいるということだからです。海鹿島保育所は先生方が大変きめ細かく子ども達を指導して下さり、食育にも力を入れて下さっています。母親にとって、子どもを安心して預けられる要素が沢山あります。また地域の方々との関わりも深く、子どもにとって非常に理想的な環境であることは明らかです。70名を超える子ども達が通っているということは、それだけニーズがあるということではないのでしょうか。銚子市の現状から、こういった案が出されることに理解は致しますが、これからの子ども達に海鹿島保育所は絶対に必要だと思いますので、再編案の再考を強く求めます。

No. 6

海鹿島保育所に関してですが、定員を満たしているのですがこのままで良いのではないですか。建物においても何かあっても平屋なのですぐに庭へ避難できるし、小さな子供達なので階段を使うよりも速やかに移動できます。

小さな所をなくして大きな所にまとめて、これでは町の小売店をなくして大型の店舗に何もかもってことですよね。保育所の運動会夕涼会など近所の方も一緒になって盛りあげて、とても良い光景なので消さないで下さい。お願いします。

No. 7

私には、中学生になる娘が2人と海鹿島保育所に通う息子が1人います。娘達の時はいまだ未満児の時に他の保育所に通い、その後幼稚園へ移りました。今回息子も同じように考えていましたが、海鹿島の保育、そして食育に対し、「ママ、ここに通っていた方が良いよ。」と娘達や家族みんなより言われ、今通所中です。娘達は、自分達を振り返り、自分達もここが良かったと…。

中学生になる娘達は、少人数の為、自分の入りたかった部活動にも入れず、勉強の面でも競争心がなく高校受験の時は大変でした。幼少期の時は、目をかけ・手をかけてあげ、小学校・中学校では協調性と共に競争心をつくるなどしていく必要があると思う。今からの赤ちゃんや保護者に対し、手あつくしてあげ、小学校・中学校の統合が先に行うべきものだと思う。このような政策では、市に対しての不審感がつのると思う。

No. 8

孫を海鹿島保育所に通わせています。子供達2人も通っていました。
当時からいらっしゃる先生や若い先生も相談事に親身になって聞いていただけて、いつも感謝しています。
運動会・おゆうぎ会・夕涼み会など行事に一生懸命な先生と1才児の孫の卒園まですごさせてあげたいと思っています。
海鹿島保育所を閉鎖するのは反対です。

No. 9

現在、子供2人を海鹿島保育所へ通わせている保護者です。
私自身も海鹿島保育所へ通っておりました。20数年経っても、あの頃と同じ変わらない先生方が何名かおり、しかも「〇〇ちゃんでしょ？」と覚えていてくださったり…。
とても嬉しかったのを今でも覚えています。20数年経っても覚えていてくださった先生方の温かさ、地域の方々の優しさ、今どき珍しいと思います。かけがえのないものです。絶対なくしたくありません。
元々は保育所に近い場所に住んでおり、引っ越して遠くなりましたが片道15分かけても通いたくなる場所です。
どうか海鹿島保育所閉鎖を考え直していただきたいです。よろしくお願い致します。

No.10

まず、文章が解りづらい。一般の人が見て長すぎてあきる。シンプルに文章を作った方がイイと思う。ざっくり目を通したが良く解らない。
ただ思うコトは…保育所を減らしたら待機児童も増えるし共働きじゃないと食って行けない世の中なのに、子供産まなくなると思う。ます×2少子化。悪循環。少子化=銚子の未来が暗いと思う。第1希望の保育所に入れなくても保育所数が有れば、とりあえず預けて働けるし良くわかんないケド、予算とか有るカモ知んないケド、子供産んでも働きやすい環境=子供産む=銚子の未来が明るくなると思う。保育所を残すことは未来への投資だと思う。それと、病児保育も充実させたりした方がイイと思う。先生の給料もUPした方がイイと思う。親目線で見ると本当に大変な仕事。子供好

きじゃないと出来ない。本当に頭が下がる。感謝しかない。全ては、銚子市の未来の為に♡こんな温かい保育園こそ大切にして欲しい。温かい未来の為に。

No.11

私は現在、2歳の息子を海鹿島保育所に通わせている保護者です
途中入所の際、どこにも空きがなく困っていたところ海鹿島保育所で受け入れていただきました。入所はこういったかたちでしたが現在では「来年も海鹿島保育所！」と家族、親戚一同、同じ意見です。

〔海鹿島保育所を選ぶ理由〕

- ・先生方、園の雰囲気がとても良く安心感がある
- ・まわりの評判が良い
- ・アットホームな感じが良い
- ・自然環境が良い
- ・息子もとても気に入っている

No.12

現在5才・3才、卒園した上の子も含め3人お世話になっている保護者です。
海鹿島保育所になぜ通わせたか、まず自宅から近い点です。でもただ近いというので決めたのではなく、周りの方々からの評判が良かったことです。なので入所体験で実際行ってみて先生方がとても明るく大らかで所庭で遊ぶ子供達も元気であたたかく迎えてくれて、緊張していた私と子供も自然に笑顔になれ「ここに入所したら楽しく学ぶことができるだろうな…」と心から思い決めました。

お世話になっている保育所が閉所となればもちろん納得いかないのは当然のことですが、その前にもっと考え直すことがあるんじゃないでしょうか？保育所を減らしては市にとってもリスクがあると思います。

ただでさえ、隣町・市外のが暮らしやすくそっちへ行ってしまう人口減少、そこで保育所を減らしては更に少子化につながると思います。まずはもっと住みやすく、育てやすい町にすることからではないでしょうか？

最後に…閉所は反対！！！！

No.13

私は、5才と1才の子を海鹿島保育所へ預けています。2人とも育休取得後の1才から預けました。フルタイムの為、保育時間も長く、先生方には、大変感謝しています。この保育所を選んだ理由は勤務先が近く、年度の中途入所が可能だったからです。

海鹿島保育所が閉所され、他の保育所へ通うには、今の勤務時間では送迎が難しいです。時短勤務を検討しますが、収入も減りますし、家計を考えるともう1人子供が欲しくても諦めます。

共働き・働く女性が増えた中、保育所はとても大切な存在です。

このような再編は、出生率の減少にもつながり、悪循環だと思います。

もっと、子育てのしやすい市にしてください。

No.14

私は、現在5歳の息子を海鹿島に通わせている保護者です。

息子は、年少のころ海鹿島保育所に入所しました。入る前、とても人見知りで、サークルなどについても、ずーっとだっこでした。そのな子だったのに、海鹿島保育所にいきはじめたら、みるみるうちに成長していきました。今じゃ、いろんな人達と話したり、まったく知らない子達とすぐ仲よくなっちゃうほどです。今の息子の成長は、本当に海鹿島保育所のおかげだと思っています。全員の先生達が、子供達の名前も覚えていて、一人一人ちゃんと理解しているそんな保育所は、海鹿島保育所だけだと思います。まず、小・中学校を再編した上で、保育所を再編すべきだと思います。順序が違うと思います。

No.15

当該箇所 11 ページ 13 行目

私は、現在3歳の娘を海鹿島保育所に通わせている保護者です。海鹿島保育所は、自宅・勤務先に一番近く、なくなると、とても困ります。駐車場もあり、送り迎えもしやすいです。

まだ、保育所に通う前、所庭開放では、娘は大喜びで遊びました。私自身も子育ての相談にのってもらったり、育児の心強い味方になってくれました。また、長く在籍する先生方も多く、安心感があります。

保育所が閉まると、子育て世代の市外への転出につながるのでは？

以上の理由から、私は、海鹿島保育所を閉鎖することは、不適切だと考えます。

No.16

提示された、公立保育所再編（案）は行革の流れにおいて支出削減優先を進めるための期限ありきで作成されたものと思える。事業所を判断するとき通常その事業所の環境を含めて強み、弱み、良い点、悪い点を加味して判断すべきをこの、再編（案）は、成されていません。いつ海鹿島保育所が閉鎖の最優先になったかその経緯が曖昧です、①保育所の経営者である事業団が15名の委員に入っていないか疑問です②海鹿島保育所がそれ程市の負担になっているか説明が不十分③海鹿島保育所は、未満児を積極的に受け入れ働きたい家庭の要求を満たしこれを叶えることが銚子は働きやすい街だと銚子に住む方も増えると思います。一番我々が遺憾に思うのは海鹿島保育所の関係者の意見を聴取すること無く今日に至った事です。当該意見書（パブリック・コメント）が形骸化されないよう望みます。

金がない・人口が減る・夢を持てる施策なしそしてついには情なき銚子に成ろうとしてます保育所再編計画は、白紙に戻しゆっくり再検討を望みます。

No.17

私は、昨年まで海鹿島保育所で、孫がお世話になっていました。今は、清水小に通う孫も、海鹿島保育所が大好きでした。毎日のお迎えが私の担当でしたが、私は車の

運転ができず、歩いていってました。孫の両親は忙しく迎えには行けなかったのも、もし海鹿島保育所がなければ、孫は保育所に預けられなかったかもしれません。また、孫の父親（私の息子）も海鹿島に通いましたが、その頃から変わらず、“子どもと先生と保護者の三角形”が密で、素晴らしい関係性を築いて下さいました。よく観察し、ほめる所はほめ、叱るべきところは叱ってくれる良い保育士さんが育てている、指導されている保育所だと思います。海鹿島保育所の閉鎖は反対です。

No.18

銚子市公立保育所の再編は、昨今、全国放送でも大きく取り上げられた、銚子市民子育て世代の神栖市への転居問題を更に加速させ、人口の流出に拍車を掛けるものと考えます。待機児童をつくらない、それこそ近隣市町村からも児童を受け入れる街づくりこそが、人口減少、市の衰退に歯止めをかける第一歩では、ないでしょうか？
私は、銚子市公立保育所の再編に反対いたします。

No.19

公立保育所が定員割れしているなか、海鹿島保育所は定員 70 人に対し 74 人通っています。それは、保育士の方々や地域住民の日々の努力の証ではないですか？1 人目の子供をあずけて安心して 2 人目もまかせられる。他にも私立も公立もあるなか海鹿島保育所が良いから、あずけたいからそこを選ぶのです。

保育士さんや協力する地域の方々を見ていると、今みんなが忘れかけている“地域で子供を育てる”ということが感じられます。その中で、より健全な子供達が育つと思います。定員が最も小さいという理由で先行して閉所されるべきではないと思います。

再編関係者の御苦勞もわかりますが第三者から見て納得できません。

No.20

現在、1才の子を海鹿島保育所に通わせている保護者です。

海鹿島保育所をなくすことは大反対です。通わせてみてわかった事ですが、たくさんのいい特色がある、この保育所をなくす必要はないと思います。

良い点 ・ 0才児を積極的に受け入れてくれる。

- ・ 先生の入替わりがない。
- ・ きれいに施設を使っている。
- ・ 食育がしっかりしている。
- ・ 先生達がみんなプロフェッショナル。

数えあげたらきりがありません。あと、防災の意味から考えても、保育園は数がたくさんある方が良いです。自宅に近い、職場に近い、なにかあったら、すぐに迎えにいける所にあるべきだと思います。小さな子は、がまんは出来ません。保育園の数、海鹿島保育所、減らす、なくすは、やめていただきたいです。

No.21

現在、息子を海鹿島保育所に通わせている保護者です。

海鹿島保育所には、1才児クラスから入りました。正直、最初は通わせる事が心配と不安でいっぱいでした。でも時間がたつにつれ、心配や不安はなくなりました。先生達の対応や、子供が楽しそうに通う姿を見て、通わせてよかったと心から思いました。

私は、息子が海鹿島保育所で成長してくい姿を見ていきたいと思っています。もし海鹿島保育所がなくなり、違う保育所や幼稚園に行く事になったら…と思うと、まず子供が心配でたまりません。まわりの環境に慣れて、楽しく通う息子の姿を見れなくなってしまうのか…。と思うとすごく不安です。

以下の理由から、海鹿島保育所を閉鎖することに反対です。

No.22

〃 再編方針（案）について

全国及び千葉県の保育所数、利用児童数の状況は増えているが、銚子市は就学前児童数が人口減少と共に大幅に減っているため、このままの状況が続けば公立保育所の利用児童数は減ってゆくだろう。それ故、財政困難の折でもあり施設を減らしてゆこうというお考えのようですが、そのこと自体が時代の要請に逆行していると思います。

人口の減少と少子化は日本全体の問題ですが、それでも利用児童数が増えているのは働く女性が増えている状況だからだと思います。どの自治体も子育て支援を充実させることを目玉にして、子育て世代の人口を増やす努力をしています。銚子の人口減をただ、こういうものだと諦めて流されるだけでなく、子育て支援を充実させることで「人口減少を食い止める」「高齢化社会を支える子育て世代を働きやすさで側面から支える」ぐらいの（案）があって然るべきではないでしょうか。

子育て世代を支援するところに主眼を置いてみると、再編の方針という名の保育所減らしは銚子市の未来を益々暗いものにしてしまう（案）だと思うので、反対です。

再編方針（案）概要：1 ページ 1 公立保育所再編方針策定の背景 について

市の厳しい財政状況は理解しています。しかし、入所児童数が減少していることや子どもたちにとってより良い保育環境の整備のため、保護者が安心して子育てが出来る環境の整備のためという観点からすれば、この再編案は的外れだと考えます。

この再編案でどれだけの経費が削減できるのでしょうか。保育士さん（貴重な人材）を減らして人件費を削減するのでしょうか。老朽化した施設の維持にお金がかかるのでしょうか。閉鎖しようとしている2カ所はどちらも耐震基準を満たしている建物です。老朽化はしていてもすぐに取り壊さなければならない建物ではありません。保育所は幼稚園や小学校と違い市内全域を隈なくカバーすべき施設です。

再編方針（案）概要：3 ページ 3 銚子市の保育所入所児童数の推移 について

公立保育所は定員割れ、とありますが子育て世代に寄り添った柔軟な保育所になっていないからではありませんか。奇しくも欄外に「最近では低年齢児が占める割合が若干増加」とあります。0歳からお子さんを預けて働きたい人はたくさんいます。色々な働き方に寄り添った保育施設を探しています。

4ヶ所の公立保育所を均一に運営するのではなく、それぞれの立地や規模を勘案して特色ある保育所にする事で、他の自治体に流出する子育て世代を食い止めること

が可能だと思います。

再編方針（案）概要：4 ページ IV 今後の保育所の方向性 について

公立保育所の機能・役割についてここに書かれていることのうち③は子育て支援課の仕事ですし、①②④以外に最も重要な機能・役割は保育所として民間保育所にはない保育の現場を⑤の人材育成のためにもつくることです。

私立保育所の欄に書かれている「市全体の保育に不可欠な存在」「公民相互に連携、協力し、保育需要に対応」は公立保育所の機能・役割にそのまま言えることです。

「多種多様な要望・サービスに対する柔軟性、意志決定の迅速性」について、1月21日の説明会では「公立保育所では年間の予算方針などが年度ごとにあり、難しい」とのことでしたが、それこそが行政の改革が必要なところだと思います。子育て支援などは関わりのある課を縦横に結んで、アイデアを出し合う動きの良い汗を流す課にして欲しいと思います。

私は私立保育所がしているような、幼稚園を兼ねたような学習やスポーツは必要がないと思っています。それをもとめる親御さんは私立保育園に行けばよいわけで、そのようなカリキュラムがあるから私立保育所が良いとはなりません。

「のびのびと健康的に安全に保育する」公立保育所が駄目で、あたかも私立保育所が良い保育施設だという書き方は子育て支援課の皆さんが、公立保育所のより良い運営を放棄して民間に任せてしまおうとしているように思えてなりません。

再編方針（案）概要：5 ページ V-1 公立保育所の再編の必要性 について

①～④のどの項目も必要性に欠ける意見だと思います。民間活力の活用がひいては行政サービスの効率化になるとしてはいますが、サービスの効率化はアイデア次第でできることがあると思いますし、「特別な支援を要する児童への対応拡充」は現状のままでは対応出来ないような大きな負担を伴うようなものなのではないでしょうか。

「子育て支援の多様なニーズ」とはどういうものがあるのか、2つの保育所を閉鎖することで失われる150以上家族の保育環境を奪ってまで振り向けるべきニーズとは何なのか、現状のままでは応えられないようなニーズなのか、説明していただきたいと思います。

説明会用資料9-2 銚子市内保育所幼稚園等配置図 を見て

幼稚園を除くと銚子半島側には公立の保育所3ヶ所と外川保育園しかありません。

幼稚園や小学校は文科省管轄の教育の場ですから、多少遠くても児童を通わせるということがあっても良いと思いますが、保育所は違います。そこに住む人に直結した、出来るだけ近くに施設があることが重要です。

半島側には銚子市を支える産業が集中しています。水産業・水産加工業や観光サービス業、医療施設や福祉施設等を支える若い世代が働いています。彼らが安心して働き、子育てが出来る環境を作り残すことは産業の発展を促し、銚子の明るい未来にもつながります。

そのことを無視して市の中心地(?)に公立保育所を集中させることには、デメリ

ットはあっても、メリットはないように思います。

No.23

まず、「子ども子育て支援事業計画」では、基本理念として「銚子で生まれ育ち良かったと思えるような地域で支える『子育てのまちづくり』」を掲げているのに、それで保育所を減らすのはおかしいと思います。人口が減っていることは確かですが、銚子市の場合は単に出生率の低下というよりも、いわゆる子育て世代が近隣市町村に流出してしまっている、という問題が大きいです。保育所がどうあるかは、子を生み育てやすい街かどうかの大きな目安となります。保育所があるから子どもが増えるといった単純なものではありませんが、逆に今ここで保育所を減らしたら、人口減少の速度がますます加速することは確実です。勿論、財政難等々は重々承知していますので、自分達にできることは喜んで協力したいと考えていますが、保育所を減らすというのは本当に最後の最後の手段として頂きたい。その前にできることがもっとあるはずです。

万が一この案通り事が進められた場合、公立保育所は市の東寄りに、私立保育園は市の中心部から西寄りに偏っていることから、結果として東部地域の保育所が2つ減らされることになるわけで、東部地域の保育所利用者の利便性が著しく損われます。また、この間行われた地域説明会の中で、第四保育所は西部住民からの入所希望が多く、第四で受け切れない場合は、東部でも一番中央寄りの第二保育所に回しており、それが第二を残す理由の一つでもある、との説明がありました。しかしながら、今は第三や海鹿島に分散している東部の利用者が、閉所してしまったらおそらく第二に集中すると思われる、第四で受け切れなかった分を第二で受けることは難しくなるのではないのでしょうか。銚子市が見限られて人口が減ることで利用者も減って空きができる…では、本末転倒ではないのでしょうか。

「子ども子育て支援事業計画」の中にあつた子育て家庭へのアンケート調査の結果、「銚子市は子育てをしやすいまちだと思うか」という問いに対し、「どちらかというともそう思わない」32.5%、「そう思わない」37.4%と非常に残念な結果となっていました。同じアンケートの、「子育てをしやすいまちづくりの為に重要だと思うこと」の回答として、「保育所の充実」は14.6%となっていて、他の項目に比べるとやや少ないようにも見えましたが、これは現状保育所はそれなりに充実しているのと、他に足りないものが余りにも多いことの現れであって、保育所の需要が無いわけでは決してないと思います。

近隣に神栖や旭（特に神栖）という強力ライバルがあることを嘆く声も聞かれますが、簡単に移れる場所にそういった自治体があるだけに猶更、方針を誤ると取り返しのつかないこととなります。事実、家を建てるなら波崎へ…という若い世代が少なくありません。ですが、そんな中でも銚子をどうかしたいと踏みとどまっている人達もいます。そういった人達の想いを無にしない為にも、未来を担う子ども達を産み・育てていく子育て世代が、これ以上銚子から出ていってしまうことを防ぐ為にも、公立保育所再編計画を今一度考え直して頂きたいです。

無駄使いは勿論避けるべきですが、教育と子育て支援にかかる費用を削っては、その時は支出が減るかもしれませんが、気付いたら誰もいなくなっていた…という最悪

の結果を招きかねません。

追記です。

保育所を減らしても運営経費そのものは大して変わらないと思われます。この間の説明からすると、それぞれ古くなってきている建物の改修費を全て賄うのは困難、というのが一番大きいのでしょうか。しかしながら、海鹿島に関して言えば、建物の問題だけで閉所してしまうのは、あまりにも勿体無さ過ぎます。そこで、建物の問題を解決する一つのアイデアとして、TVのリフォーム番組、「ビフォーアフター」に応募してみたい、という希望があります。住宅が主の番組ですが、過去に施設系の事例もあります。海鹿島保育所は見た目云々というよりは見えない部分の問題がどの程度あるのか無いのか、安全性に関わる部分の改修を絶対条件として、かつ、見映えの部分も対応できるのか、それを実現するにはどの程度費用がかかるのか（TV企画ですが無料ではなく、いくばくかの資金は必要）、課題はあるのですが、もしも採用されたら、通常に依頼するよりは安く済むのと、話題性、宣伝効果は計り知れません。（銚電本銚子駅のリフォーム結果を見ておわかりかと思ひます）

そもそも採用されるのか…という問題もありますが、募集要項を見たところ、毎月100通以上くる応募に番組スタッフは全て目を通しており、どうしてもリフォームが必要だ！という熱い想いが一つの採用基準である、と記されていました。

ですから、我々海鹿島保育所保護者の熱い想いをのせて応募したいと考えています。ただ、海鹿島の土地、建物は市の所有であることから、勝手にはできないので、是非ご検討の上、応募をお許し願えないかと思ひております。

採用された場合のメリットは大きいですし、採用されなかったとしても、特にデメリットはありません。採用、または採用を検討する場合、1ヶ月以内に何らかの返事があるとのこと。どうぞご検討の程、宜しくお願ひ致します。

No.24

公立保育所の再編を見直して頂きたいです。過去3年間の銚子市の人口推移を調べましたが、2017年の毎月の世帯数増減平均が△4.82世帯、2018年月平均△7.83世帯だったのに対し、2019年には、月平均の世帯数増減が△14.92世帯と、減少数が倍になっています。それは、2018年末に発表された緊急財政対策を受け、銚子市への危機感が増したからではないでしょうか。さらに推測ですが、公立保育所再編が実施され、第三と海鹿島が閉所することで、それまで漠然と感じていた危機感が、若い世代・子育て世代に、より身近な問題として迫ることとなり、世帯数の減少はますます加速するのではないかと考えます。今まっ先に市がすべきことは、「育てづらさ→働きづらさ→暮らしづらさ」を招く保育所再編ではなく、子育て世代に選ばれる魅力ある町づくりだと思ひます。

私は海鹿島保育所の保護者なので、やはり、海鹿島保育の事は特に気にかかります。海鹿島だけが残れば良いという考えは毛頭ありませんが、一点、海鹿島保育所について申しますと、建物の老朽化が大きな問題と聞いています。そこで、一つ、とっぴょうしもない話だとは思ひますが、考えたことがあります。TV番組「劇的！ビフォー

アフター」ヘリフォーム依頼をしてみるとというのは、いかがでしょうか？説明会の時に何度も申しましたが、銚子の郷土愛を育む最高のロケーション、地域の人達との絆、等、建物の老朽化を理由に閉めてしまうには、あまりにもったいない所です。

番組の力を借りて、低予算に銚子の魅力を発信させる様な施設に生まれ変わったならば、“子育て環境にも力を入れている町”としてのPRにもつながり、海鹿島保育所だけでなく、町の人口減を食い止める手立てにもなるのではないのでしょうか。

知り合いのママさんが、こんなことを話してくれましたので、代筆します。(彼女は香取市在住です)「私は銚子市公立保育所再編に反対です。というのも、子ども達への影響もさることながら、地域への影響が大きいと思うからです。私達家族は香取市の一番銚子寄りの山の中に住んでいます。昔からいるわけではなく、移住者です。ここに住みたいと選択して土地を分けて頂きました。私達夫婦は今住んでいる地域の田舎らしさに惚れて移住しました。ですので、子供たちにも自然の豊さと農業が当たり前の地域で育ててほしいと思ってきました。で、移住してすぐに、上の子は全校生徒60人の小学校に、下の子は全児童10人位の保育所にお世話になりました。うちの子達には、この地域の小学校、保育所が合っていたようで、すごくのびのびと幸せに過ごしました。ですが、2年間通った後、小学校・保育所の統合で、小学校は町中の学校(全校生徒500人以上)に、保育所は組織換えして新築したこども園に、統合されました。小学校は仕方ないので、そのまま。保育所は親の希望で、新しいこども園ではなく、笹川中央保育園に通わせました。

そんな経緯で感じる地域への影響とは、以下のようなことです。保育所や小学校はそれぞれの地域の子育て事情があるなかで、それぞれに独特な必要性を歩んで設置されてきたという歴史があったと思います。つまり、地域の住民がつくったものです。だから、子育て教育施設は基本的には旧村単位で存在してきました。そして、どの施設も何十年あるいは百年近くの年月もの間、地域の子供たちがそこで育ち学び、大人になっていったところなんだと思います。つまり、保育所や学校は地域に住むみんなの母校なんです。

だから、私達の地域の場合は、そこに通う現代の子供もまた自分の母校の後輩なんだという気持ちで、地域の大人は大事に考えてくれて、運営や維持に積極的に関わってくれてきていました。ところが、そんな保育所や小学校がいじわるに言えば、行政の業務の効率化経費削減化のために歴史に幕を閉じられようとしているのが現在の一般的な状況のようです。

私達の地域は、統合されてから、子どもと地域が関わる場が減りました。地域に何人の子供がいるのかが、大人の関心からはだんだんと薄れていきます。世代間のつながりが薄れることで、地域そのものがまとまりを失ってってしまうのではないかと心を痛めています。」

以上、代筆でした。

公立保育所再編の理由について：①入所児童数の減少→定員70名に対して、74人の児童が海鹿島保育所に在籍しており、受け入れ児童数が他の保育所より少ないこ

とを加味しても、地域のニーズは満たしているといえる。

②施設の劣化・老朽化に関して修繕費がどれくらいかかるのか資料に詳しいデータが記載されていないため、再編理由の一つとしては弱いと感じる。

③市の厳しい財政状況に関しては、海鹿島保育所は公設民営の施設であるため、運営は銚子市社会福祉事業団が行っている。市が関わってくるのは所有している建物だけであるため、市の財政改善に大きな影響はないと考えられる。

以上3つの理由から、海鹿島保育所を閉園する現状に今はないと考えます。

今一度ご検討をお願いします。

No.26

説明会の中で、保護者や地域の方の怒りが特に強かったのは、なぜ「再編方針(案)」を決める前に、保護者や地元の意見を聞かなかったのか、ということでした。

『銚子市公共施設等総合管理計画』では、「特に、施設の廃止、移転など、市民生活に大きな影響を及ぼす場合は、地域住民や施設利用者への十分な情報提供や意見交換をしながら進めます。」としています。

「再編方針(案)」が決まってからの説明会や意見募集では、保護者や地域の皆さんに納得していただく事はできません。

これは「行政改革」の成果を急ぎ過ぎたために生じた弊害です。

「再編方針(案)」はいったん白紙に戻して、『銚子市公共施設等総合管理計画』の精神に基づき、保護者や地域の皆さんへの十分な情報提供と意見交換から始めるべきと考えます。

公立保育所の統廃合の理由は、「児童数の減少」と「保育所施設」です。

施設については「老朽化」が大きな要因となっています。

また、説明会では、「児童数の減少については公立保育所の定員減で対応できるのではないか」との質問に対し、「4つの保育所施設を維持していくことは難しい」との説明がありました。統廃合の最大の理由は「施設」維持改修費用だと考えられます。

しかし、海鹿島保育所については専門的な調査は行われておらず、危険度や今後必要となる改修費用も不明です。他の3つの公立保育所の施設の状況はどうなのでしょう。

「保育所施設」について具体的な改修費用等がわからない中で、「施設」を理由に統廃合を行うべきではありません。公立保育所の統廃合は白紙撤回した後、保育所施設の調査検討を行い、具体的危険度や改修費用などを示すべきと考えます。

「再編方針(案)」によると、平成22年の0歳児数が333人に対して、31年は212人と激減しています。保育所全体の在園児数も915人から826人と大幅に減少しています。

しかし、0歳児の在園児数は22年35人に対して、31年43人と増加しています。入所率は22年が10.5%に対して、26年14.5%、31年20.3%と年々増加しています。

早くから保育を必要とする保護者は確実に増えているのです。

4歳児、5歳児については児童30人に対して1人の保育士で対応できますが、0

歳児では児童30人に対して10人の保育士が必要になります。

保護者の希望に添っていくためにも、再編方針の策定にあたって、年齢別の検討が必要ではないでしょうか。

安心して子育てができるまちを目指すためにも、保育所の統廃合は十分な検討が必要と考えます。

児童数の減少が続いていることから、早急な対応が必要なことは明らかです。このままでは、私立保育園は定員割れが生じ、存続が難しくなることも考えられます。

これに対応するには、児童数の推移を見ながら公立保育所の定員を下げていき、公立保育所・私立保育園全体で、定員割れや待機児童が出ないように調整していくしか方法がないように思います。

大切な社会資源である保育所を地域に残すために、「公立保育所の再編」ではなく、銚子市のこれからの保育を公立保育所、私立保育園が一体となって考えていくべきではないでしょうか。

No.27

第四保育所は存続するとのことですが、地震・津波・冠水等、自然災害に対する安全対策についてどのような検討をされ方針決定をしたのか説明してください。

よろしくお願いします。

No.28

統合せずに、最低でも現在の保育園を修繕し、維持する事。

人類の、地球の宝ともいえる子供たちを育てていくことは公の義務です。

原則として、私立に委ねる考え方は公の放棄につながります。

現在定員割れの状況でもなく、「消滅可能性都市」からの脱却を目指すなら、やる事が逆です。子供たちや子育て世代が安心して暮らせる街を目指し、希望と将来性を感じる市政を目指すべきです。

No.29

銚子市公立保育所再編方針（案）で公立保育所を閉園する理由として主に挙げられているのは、施設の劣化・老朽化、市の厳しい財政状況です。そこで私は海鹿島保育所の民営化を提案します。海鹿島保育所は公設民営ということで、運営は銚子福祉事業団、施設は市が管理するものとなっています。仮に市が海鹿島保育所を閉園したとしても市の財政に対する影響は大きくないと思われます。しかし、もし市が海鹿島保育所の施設を銚子福祉事業団が買い取り、完全民営化することができるのであれば市には一時的ではありますが施設の売却費が入り、その後の管理費も掛からないなどのメリットがあります。

人口減少対策をこれから進めていこうとする中で、保育所の数を減らす事が得策では無いのは明らかです。市民が納得できるように一方的な説明会ではなく、話し合いの場を持つこと、閉園以外の選択肢を持つことを今一度ご検討頂きますようお願いいたします。

No.30

先日 保育所再編方針説明会に出席しました。課長、課長補佐の丁寧な説明をされていきました。現在通わせている児童の保護者の気持ちも充分理解できますが、子育て支援会議等の様子、銚子市の出生率の減少等、ご理解を得るには、至らなかったように感じます。現在の銚子市の保育園の現状等理解されることはありませんでした。例えば、外川・銚子保育園が、児童 200 名定員施設から、現在 70 名の定員になり、子どもたちのため頑張っている民間の現状等、でもそれは、無理と理解します。公立保育所の再編計画説明会なので、私は、民間保育園関係者として、一言申し上げます。この再編計画の結論方針は子ども子育て支援会議、銚子市行革審等で何度も議論され、銚子市が示された結論であると思います。再編実施計画に沿い実施されることを望みます。尚、海鹿島保育所に関し、指定管理者による民間経営保育所と市が結論するのであれば、全ての公立保育所の指定管理者への移行を望みます。

No.31

銚子市の現在、今後を考えると今まさに再編時期です。方針案をどんどん進めるべきです。子どもの育ちには待ったはなく、必要な集団で子供時代に経験しなければならない体験を積まなければなりません。今の時代はその環境がなく意図的に設定してあげなければなりません。必要な集団の中で人としての基礎をはぐくみ就学するのです。その意味から現在の公立幼稚園の在籍数に疑問を持ちます。銚子市にはもはや公立幼稚園は必要ないでしょう。海鹿島保育所については公設民営ではなく、民営として残す方法もあるかと思います。つまり事業団所属にするということはいかがでしょうか。

再編については子どもの育ちを第一に考えたいです。行政としては再編後、今まで以上に保育士の質の向上について気を抜くことなく公立保育所のサービス充実に力を注いでいただきたい。担当課の皆さまの健闘に期待いたします。再編に向け頑張ってください。

No.32

海鹿島保育所が閉鎖になると聞きまして大変驚いております。働くママさんにとっても少しでも近くの場所で、子供を預ける事が出来る事が最高だと思います。海鹿島保育所は、とても良い所に建てられています。保育所からは、電車も見え、四季折々の草花、虫の声が聞け、秋には、保育所内で芋掘りの体験が出来ます。又地域の方々に昔のあそびを、たくさん教えていただき、目を輝かせ遊ぶ子供達の顔を見ると、とても、しあわせを感じます。こういうとても良い環境の中で、のびのびと育つ子供達が、特に今の時代には必要では、ないでしょうか？